

3年 5組 理科	題材 遺伝の規則性	令和 5年 9月28日(木)
----------	-----------	----------------

単元計画		<p>純系の品種と交配の品種がそれぞれ自家受精した場合の形質の表れ方が違う理由を説明する活動で、対になる遺伝子の組合せに着目し、形質の伝わり方を順序立てて考えることを通して、遺伝子の組合せと形質の表れ方を関係付けて説明することができる。</p> <p>ねらい</p>	<p>対応</p>	<p>振り返り</p> <p>〇ルーブリックを用いた自己評価 〇課題解決のためにどのような学び方ができたか</p>			
時	題材						
1	遺伝の規則性・遺伝						
2	遺伝の規則性・メンデルが行った実験①				<p>黒田五寸人参(純系)の子は親と全く同じ形質が表れるが、交配黒田五寸人参(交配)の子は不揃いの形質が表れることに疑問をもたせ、交配黒田五寸人参の子の形質がなぜ不揃いになるのかを問題としてつかませる。</p> <p>アめプあてへのチ</p>	<p>両者の種子の袋の写真を提示し、「純系」「交配」の違いを見付けさせる</p>	
3	遺伝の規則性・メンデルが行った実験②				<p>めあて</p>	<p>対応</p>	<p>まとめ</p> <p>交配の子の遺伝子は組合せが異なるため、分離の法則によって遺伝子の組み合わせが1種類にはならないので、形質が不ぞろいになる</p>
4	遺伝の規則性・メンデルが行った実験						
5	遺伝子・遺伝子の本体						
6	遺伝子・遺伝子に関する研究	<p>解決にどのような知識が必要なのかをつかませ、それらを順序立てて考えさせることで見直しをつかませる。 ①個体の中での遺伝子の様子 A純系と交配の遺伝子の組合せ B生殖細胞のでき方 C受精後の遺伝子の組合せ D異なる遺伝子の組合せでの形質の表れ方 ※これらの内容をヒントカードとして準備し、ヒントカードをで解決に必要な情報を補いながら自己解決を目指す</p> <p>見直し</p>	<p>進捗状況シートを生徒全員で共有し、各生徒の課題解決状況を確認させる</p> <p>任意の生徒に発表させ、それらの生徒の説明が適切であれば全員解決とみなす</p>	<p>解決活動</p> <p>自己解決活動:ヒントカードを用いながら、解決活動に取り組む 学び合い活動:進捗状況シートを参考に、自己の説明が分かりやすく適切であることを確かめ合ったり、分からないことを教え合ったりして全員が解決できるようにする 評価:数名の生徒が全体で説明する</p>			

ルーブリック	S	A	B	C
交配種の子の遺伝子の組合せを明らかにし、遺伝の規則性を順序立てて説明することができる	Aに加えて、資料等を活用しながら、図や表などを用いてスライドに分かりやすく整理している	遺伝の規則性を順序立てて説明するとともに、交配種の子の遺伝子の組合せを正しく指摘することができる	遺伝の規則性を説明できるが、交配種の子の遺伝子の組合せを指摘するまでに至らない	遺伝の規則性を説明できない